

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	津久井高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制の課程 普通科・福祉科
-----	---------	------------------	-------------------

1 学校のミッション

複数の学科を併置する全日制高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。

普通科においては、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な教育課程編成を行う。

また、専門学科においては、産業の動向等に適切に対応し、福祉に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、实际的・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な世知に基づいて教育課程編成を行う。

これまでは、他者とのかかわりを大切にし、共生・協働を実践する社会性豊かな人材の育成をめざして、地域とともに歩み、地域から信頼される学校づくりに取り組んできた。また、生徒個々の学習ニーズに応じたきめ細かい教育を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、主体的に学習する意欲を高めるための不断の授業改善を実施するとともに、福祉科においては、介護福祉士養成を主とした福祉教育を展開し、地域のニーズに応じた人材の一層の育成を図る教育活動の充実に取り組んできた。

今後も引き続き、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいく。

2 学校教育目標

将来、「地域と共生・協働し、自己実現を達成する生徒の育成」を目指し、「基礎学力を身につけ活用できる生徒」「モラル・マナー・ルールを遵守できる生徒」「コミュニケーション力・行動力を発揮できる生徒」を育てるために、日常の学習活動、学校行事、特別活動、部活動等の学校生活全般で、自らが主体的に取り組むことができるよう、保護者、地域、外部機関等との連携・協力を強めた教育活動を展開していく。

3 計画策定時点での課題

○教育課程・学習指導

- ・基礎学力が十分に身につけていない生徒、学習課題を抱える生徒が散見される。
- ・学習意欲の喚起に向けた生徒の学力の把握に工夫・改善が求められる。
- ・生徒の確かな学力の向上に向け、ICTを利活用した一層の授業改善が求められる。

○生活指導・生徒支援

- ・引き続き基本的な生活習慣の徹底を図る。
- ・生徒が主体的に行う活動を支援する体制の工夫・改善を図る。

○進路指導・支援

- ・自己実現に向けて、地域と協働する場面を創出、活用するなど、学校外の教育資源の活用を図る。

○地域等との協働

- ・地域の特色を活かし、地域の教育資源を活用した協働的な取り組みを推進する。（令和4年度から「地域探究」をテーマとした研究指定）。

○学校管理・学校運営

- ・働き方改革を一層推進する。
- ・生徒・職員の防災危機意識の醸成を図る。

(第1号様式)

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none">・社会に出て活用できる基礎、基本的な学力の定着（確かな学力の向上）を図るためのきめ細かい学習指導を行う。・本校の育てたい生徒像の実現に向けた特色ある教育課程を編成していく。	<ul style="list-style-type: none">・生徒の学習理解度を把握し、「わかる授業」に向けた教科検討会や研修会を開催し、授業改善を進める。・新学習指導要領の実施に向けて育てたい生徒像にあった特色のある教育課程編成をする。その際、各教科の視点、横断的に学ぶためのカリキュラム・マネジメントについても研究する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none">・モラル・マナー・ルールを遵守する心を育成し、高校生として良識ある行動ができるように規範意識を高める。・コミュニケーション能力を育成するとともに、様々な生徒がそれぞれの得意分野で主人公となって学校生活や学校行事に取り組めるような支援体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・服装指導・頭髪指導を徹底し、規範意識を高める。・バイク通学等による交通安全教育に力を入れ、モラル・ルール・マナーを守り、安全な活用を徹底する。・生徒の声を大切にし、主体的に取り組むことのできる、学校生活や学校行事を支援していく。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none">・一人ひとりの進路実現に向けて、職業観や勤労観を育成できるよう、計画的かつ継続した指導体制及び支援体制の充実を図る。・福祉科においては、介護福祉士養成を主とした福祉教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・「総合的な探究の時間」を活用し、インターンシップ、OBやOGによる講演など様々な企画を行い、「キャリア教育プログラム」を実践していく。・福祉科においては、介護福祉士国家試験の合格率向上を目指す。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none">・地域の中の高校として、本校を含めた地域の活性化を図るとともに、地域に貢献できる人材育成を推進していく。・学校の情報を積極的に発信し、家庭や地域社会から理解され愛される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティスクールの各部会の実働において、地域との協働を実践していく。・地域の特色ある行事に積極的に生徒参加を進め、地域連携を行っていく。・学校独自の取組を効果的な方法で広報していく。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革を推進し、生徒と教員が相互に関わる時間の確保を行う。・防災意識を高め、自分のいのちは自分で守る防災教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・業務・会議等の見直しを行い、より多く、放課後部活動等で生徒と関わる時間を作っていく。・近年の災害、本校周辺の災害状況などを理解し、適切な防災訓練の実施と、生徒自身が自分のことととらえることができるような防災教育を行う。